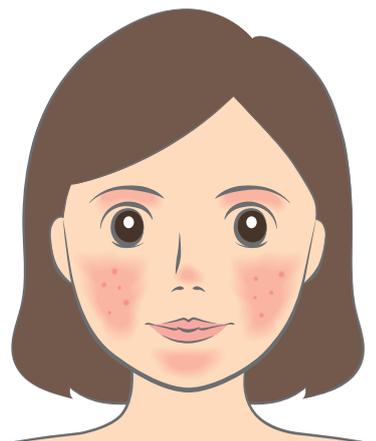




頬や鼻が真っ赤になりブツブツが治りません ニキビなどではなく「酒さ」の疑いがあります

立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

酒(しゅ)さの症状



顔の頬、鼻、あご、まぶたなどに赤みが広がる「酒さ」

顔が真っ赤になり、浮腫を伴うこともある「酒さ(しゅさ)」について、日

本皮膚科学会認定皮膚科専門医で、立川皮膚科クリニック院長の伊東秀記先生に聞きました。

― 症状は？
「頬やあご、鼻などの毛細血管が炎症を起こし肌が真っ赤になります。30代から50代に多く発症し、ニキビのようなブツブツが多発することもあります。また、まぶたが炎症を起

こすなど眼型もありま

け止めなどで紫外線対策

をすることも重要です。

ニキビと間違いやすい疾

患ですが、酒さは面皰(毛

穴の詰まり)がありません。

ニキビだと思っ

て自己判断でニキビの治療薬

を使っても治りません。

また似たような症状に酒

さ様皮膚炎があります。

これも別の疾患で、治療

法が異なります。症状を

鑑別するためにも皮膚科

の医師に相談をしてくだ

さい」

原因は？
「直射日光や寒冷など外的要因と、アルコール、香料などの刺激物の接触がきっかけとなること

が多いです。また、精神的なストレスの影響が大き

い場合もあります」

治療法は？
「症状に合わせて抗生

剤を処方します。治療中

は、紫外線に当たらない

ように帽子、日傘、日焼

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門
医、東京慈恵会医科大学医学部
卒業

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分



休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け